

議会だより おおやまぎ

3

2024
March

No107



特集

『みなさん、これがZ世代の実情です』



役場庁舎4階からの天王山

皆さんは「Z世代」と聞かれてどんな世代とイメージされますか？ Z世代とは1990年代半ばから2010年代序盤に生まれた世代がZ世代と呼ばれます。Webメディアからの情報収集があたり前になり、社会貢献やSDGs等の環境問題、自分は自分、他者は他者として、自分らしさや多様性が身近な世代と言われています。

そこで、今回は、1月8日に行われた「大山崎町二十歳を祝う会」の会場にて、Z世代の20歳の方にご協力をいただき、大山崎町についてインタビューを行いました。

インタビューにご協力をいただいた皆さま、ありがとうございました。



良くないと思うところをお聞かせください。

◆ 良いところ(自慢できること)には、32組ほぼ全員が回答されました。

◆ 「自然がいっぱい」9人、「天王山」2人をはじめ、山や川など自然の豊かさへの回答が13人ありました。少数ですが、「歴史」との回答もありました。「交通の便が良い」8人、「阪急とJRの駅が近い」2人、「高速道路が近い」など、交通の便利さへの回答が11人ありました。

大山崎町の良いところ(自慢できること)、

◆ よくないと思うところの回答は8組で、よいところに比べて少数でした。



◆ 「スーパーが少ない」「ファーストフード店がない」「ショッピングモールがない」「食事をする所が少ない」などの回答が5人からありました。

「水道代が高い」「街灯が少なく暗い」「公民館が廃墟化している」などの回答がありました。

議会の声

◆ 議会で取り上げている町の課題を率直に指摘する回答があり、有権者意識の高さを感じました。

＼特集／

『みなさん、これが』

マスクを外した二十歳の声



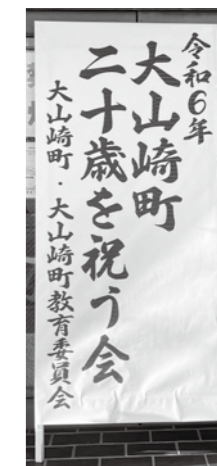
◆ 自然が豊かという田舎的な環境と、交通の便がよいという都会的な環境があることから、「田舎が程よく残っている」2人、「ちょうどよい都会」「住みやすい」などの回答がありました。

◆ 「人がやさしい」2人、「平和」2人、「地域があたたかい」「学童は素晴らしい」「治安がいい」など、人のつながりに関わる回答も多くありました。

一方で「狭いがゆえのつながりの良さと、表裏一体で狭いがゆえの悪いところもある」との回答もありました。

議会の声

◆ 若者が生まれた町の良いところをしっかりと回答されたことに感動しました。この良いところを今後も残したいものです。



インタビューを行った議員の声

◆ 北村吉史 二十歳を祝う会の式で静かにしっかり聞く態度が素晴らしい。心から若い皆さんにエールを送ります。

◆ 徳本修司 素直で明るい方が多く嬉しく感じました。また選挙の投票に行かれている方が多いことにも感銘しました。

◆ 小畑孝信 少し寒い中、凛とした空気感が心地よく、二十歳の夢を持つキラキラした瞳にこちらもワクワクしました。

◆ 辻 真理子 大山崎町の良いところを悩まず答えられ、町への愛着を感じました。町外出身の私にはそれだけで素敵でした。

◆ 堀内古比呂 町の良い所、課題などの確に答えてくれた。今企画が、町政に興味を持ってもらえるきっかけになればと思う。

◆ 朝子直美 町の良いところについてはすぐに答えられる一方、よくないところは少し考える人が多かったことが印象的でした。

行かなかった理由は「時間が合わなかった」「忙しかった」「知らなかった」「興味がない」「めんどくさい」「寝ていた」「誰が出ているかわからない」でした。



「選挙に行きます」の理由は、「権利」2人、「義務」2人、「選挙は大事」3人、「国をよくしたい」2人。「行ってみようかな」の声もありました。

議会の声
若者の政治離れが心配されていますが、「選挙に行った」「選挙に行きます」の回答が多いことは頼もしく感じます。

多世代の声を聴きます
このアンケートから、大山崎町は自然が豊かで交通の便が良い、住みやすい街という結果が出ました。
今後は、高齢世代の方へのインタビューをさせていただきます。
ぜひ、「議会だより」にご期待ください。

井上博明 若い世代が政治に関心がないのは理解できる。未来ある若者に恥じない政治(地方自治)を行う必要性を感じた。

波多野底砂 二十歳を祝う会で、Q当町の欠点水道代高いにA同じテーマ苦慮Q当議員定数の正解32名中1名のみPR要

井上治夫 若者の真摯な回答に元気をもらいました。教え子にも会い、いっしょに大山崎を住みよい町にしたいと思います。

問4 一昨年の町長・町議会議員選挙に行きましたか。いいえの方は、理由は何ですか。

「行った」 29人、
「行かなかった」 10人

問5 今後、国や京都府、大山崎町の選挙に行きますか。その理由はどうしてですか。

「選挙に行きます」 32人、
「行かない」 6人

特集 / 『みなさん、これがマスクを外した二十歳の声』

問6 大山崎町の議員は何人かご存知ですか。

「知っている」5人、
「知らない」15人+α
+αで12人が議員の数を3人~30人まで予想回答されましたが、**定数12人という正解は1人だけ**でした。

議会の声
町議会の定数を知っている方が少なく、町議会からの情報発信が必要だと感じました。



問2 どんな大山崎になればよいと思いますか。

「このままでいい」5人は、
このまま自然を守ってほしいとの回答です。

「買い物がしやすい町」「お店を増やしてほしい」「食事をする所を増やしてほしい」「若い人が楽しめる町」「若者が増えてほしい」「活気あふれる元気な町」「にぎやかな町」「おしゃれな町」などの回答がありました。

「子どもが活躍できる町」「子育てしやすい町」「誰もが住みやすい町」「みんな仲良く」「楽しく暮らせる町」などの回答がありました。



議会の声
若者らしい回答、将来への希望につながる回答が多くありました。



Z世代の実情です』

問3 現在、大山崎町在住ですか。はいの方は、今後も住み続けたいですか。在住でない方はなぜですか。

在住の方は29人、
住み続けたい18人、わからない3人、
他府県で就職が4人。
在住でない方は8人。
主な理由は**大学進学のため**。
戻ってきて住みたい2人。

議会の声
「住み続けたい」「戻ってきて住みたい」の回答が多いことは町にとって期待の持てるものです。



インタビューを行った議員の声

山中一成 大山崎っ子は素晴らしい！頼もしさを感じて素敵な気分になりました。

島一嘉 インタビューを受けてくれてありがたい。大山崎町や議会への関心事に応えるよう議員の資質向上に頑張ります。

西田光宏 素直に答えてくれた方が多く、皆さんの町への愛着や政治への関心に触れることができ、とても有意義でした。

季刊議会

12月議会あらまし (令和5年第4回定例会)

12月5日から12月22日までの18日間にわたり、町長から提出された12件の議案を審議しました。

また、1件の請願と3件の陳情を審議しました。



議決結果はこちらから



会議録はこちらから



令和5年度一般会計補正予算案を修正可決

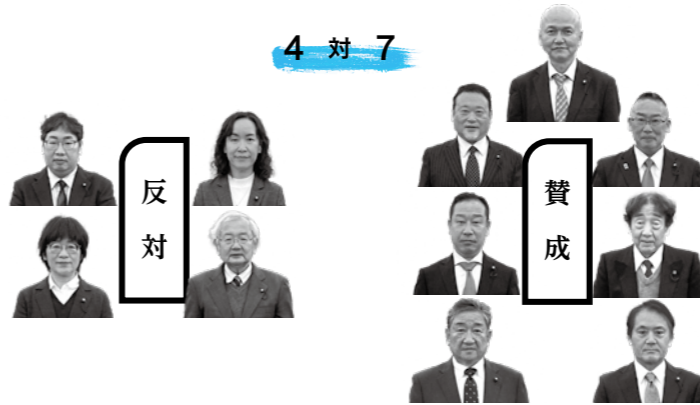
○住民税非課税世帯等への臨時特別給付金にかかる経費などの補正予算。

○1人の議員が、町長から提案された補正予算案の修正案を提出

(修正案を提出した議員) 島 一嘉

○修正案は 賛成多数により可決

4 対 7



☆修正案の内容

○私道整備事業補助金(1,888万7千円)を削除

○修正議決した部分を除く原案(町長からの提案)は 全員賛成により可決

12月議会に提出された請願と陳情

☆賛否の詳細は、裏表紙をご覧ください。



(全員賛成) 採択

請願 私立幼稚園幼児教育振興助成に関する請願



(賛成少数) 不採択

陳情 中学校給食無償化に関する陳情書



(賛成少数) 不採択

陳情 公民館再整備計画の早期再開に関する陳情書



(賛成多数) 採択

陳情 国に選択的夫婦別姓制度の審議を求める意見書を提出することに関する陳情書

報告 町民との懇談会を開催しました

○議会と町民との懇談会の開催については、町ホームページをご覧ください。(こちらから)



令和6年
1月19日

懇談テーマ

天王山の山頂近くに
バイオトイレの設置について

「天王山にバイオトイレをつくる会」のメンバー8人、総務産業常任委員会に所属する議員5人で、約1時間半の懇談を行いました。

お互いの自己紹介に続き、「会」からのお話をお聞きしました。大山崎町にとって重要で、多くの町民が親しんでいる天王山にトイレがあれば、山頂でゆっくり過ごすことができるし、子どもさんや女性も安心できること、約1000人の町民から賛助金が寄せられたこと、汲み取りや排水設備の必要なバイオトイレは、維持経費も安価であり、京都府下では愛宕神社など6か所に設置されていることなどの説明を受け、バイオトイレの機能や設置方法、トイレの利用マナーや、トイレの必要性について、質疑応答、意見交換を行いました。

(総務産業常任委員会 委員長 朝子直美)



令和6年
1月20日

懇談テーマ

公民館再整備計画について

複合化施設早期実現に向け、懇談会の申し込みを受け、町民参加者8人と議員7人が1月20日土曜日に懇談を実施しました。

町民の参加者から複合施設の建設が中断している理由、また複合施設特別委員会から出された提言案がなぜ2つなのか等、質問がありました。

議員から、当初の建設費は18億円であったが、約30億円を超えることが判明した。そして町は建設後の運営コストの算出ができておらず、大切な税金を預かる議員としてこの状態では賛成できず中断している。しかし、議員の多くは複合施設を新築したいと考えている、今後も町と共に建設に向けて歩みたいと回答しました。

(複合施設特別委員会 委員長 井上博明)



令和6年
1月27日

懇談テーマ

中学校給食無償化について

懇談申し込みいただいた町民6人の方と、建設上下水道文教厚生常任委員会に所属する議員3人と副議長で懇談を行いました。

まずは町民の方から、中学校給食無償化への想いをお聞きしました。義務教育に係る負担や、子育て世帯の平均世帯収入が下がり、貯蓄出来ない世帯が増えている中で給食無償化に期待していることや、「給食無償化」が子どもを大切にする町としてよりわかりやすい。インフラ整備も重要だが、住民サービスである子育て支援も同率に考えてほしい。などをお聞きしました。

質疑では、現状の町の財政状況や給食無償化している自治体と大山崎町の財政状況の違いや、「公約」とは等の意見交換をしました。

(建設上下水道文教厚生常任委員会 委員長 辻 真理子)





北村 吉史 議長

ここが聞きたい!

10人が町政を問う。

12月定例会では、12月12日、13日の2日間にわたり、10人の議員が町政に関して質問しました。

このページは、本会議の一般質問をもとに、議員が各自で執筆しています。

正式記録は、次の方法をご覧ください。(次回定例会の開会日頃からご覧いただけます。)

- 冊子で閲覧(閲覧場所：役場1階ロビー・役場3階情報公開窓口・役場4階議会図書室・中央公民館図書室・長寿苑)
- 町ホームページから会議録検索システムで閲覧(こちらから→)



「特集」みなさん、これが2世代の実情です

12月議会あらまし

一般質問

地方自治における町長の政治姿勢

町：切磋琢磨しながら議会と協調したい



にしだ てるひろ 議員

他の質問：新幹線の騒音および府道町道等における問題



地方自治の在り方

Q 二元代表制では、首長・執行機関と議会が互いに抑制と均衡を図り最良の運営を行うものである。しかしながら現状の執行部は、議会へ十分な対応ができていないと思えないが町長の考えは如何か。

A 議員と私はそれぞれ住民を代表する者で共に負託に応える独立した対等な関係にある。私の政治姿勢は自分の考えを曲げないことだと考えている。

Q 町の重要事項の計画・進捗状況「中学校給食の無償化・天王山パイオトイレの設置・公民館を含む複合化施設の構築問題」について、町長から議会への事前説明が欠けているのではないか。

A 議会からは事業案に対し様々な懸念等をいただいている。緊張関係を保ち、今後事業を進めて行く際にご指摘を真摯に受け止め反省しこれまで以上に議会に対し丁寧な説明に努める。

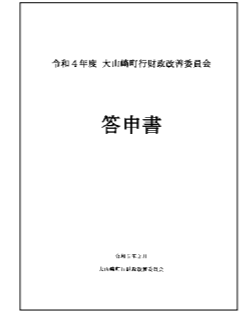
行財政改善委員会答申書について

町：民間活力の更なる活用を進めて参りたい



いのうえ ひろあき 議員

他の質問：ファミリー市との姉妹都市締結について



行財政改善委員会 答申書

Q 答申を受けての考え方について問う。

A 町長から同委員会に「小さな行政」を推進する為に民間活力のさらなる活用について諮問をし、本年2月に答申を受けた。町立保育所の給食調理の民間委託を進めること「なごみの郷」の運営管理等について競争原理を働かせて事業者を選定することの2点についての必要性が示された。町立3保育所内の1園で民間委託している。令和6年度当初からの給食調理開始にむけて、この間積極的にその検討を進めてきた。廃棄資源物収集運搬業務についても、民間委託を検討してきた。また、「なごみの郷」の運営管理等について、競争原理を働かせて事業者を選定することは、現在はまだ内部で検討している段階です。

防犯カメラの増設について

町：慎重に見極めていく必要がある



とくもと しゅうじ 議員

他の質問：府道西京高槻線の安全対策について



カメラ付き自動販売機

Q 町内で刑法犯の件数が増加しているが、次年度以降も防犯カメラを設置していく計画はあるのか。

A 近隣の市においては200台単位の運用しており、また地域からの要望があることから、次年度以降も検討する余地はある。しかし、設置後は電気代、メンテナンス費用、修繕費用が発生するため、慎重に見極めていく必要がある。

Q カメラ付き自動販売機の有効性についての見解は。

A 自治体で導入するメリットは、設置費用が発生しないこと、カメラの設置場所や電源を確保できること、維持管理や警察への画像提供は運営団体が行うことから、自治体の負担が大きく軽減される。一方で、採算の取れる自動販売機しか設置できない。導入については、先行して実施している市町村の事例を調査・研究していく。

学校体育館エアコン設置の進捗は

町：専門事業者と現地の下見を行った



つじ まりこ 議員

他の質問：小中学校のグラウンド整備、物価高騰対策等



熱中症対策の観点からも空調設置を

Q 小中学校の体育館へのエアコン設置は災害避難時の環境改善にも繋がる。進捗を問う。

A 小中学校の屋内運動場に空調機器を設置する経費を算定するため、専門事業者とともに現地の下見を行い、工事に係る予算規模や工程など必要な情報収集を行った。

Q 「アート&テクノロジィ・ヴィレッジ京都」の施設を災害時の避難所等として活用出来るように京都府に要請してはどうか。

A 水害以外の災害、主に地震においては「アート&テクノロジィ・ヴィレッジ京都」の施設を避難所として活用できるのであれば、本町の避難所の収容人数の不足を少しでも軽減できる。しかしマクセル株式会社の土地を京都府が借り上げ、その運営管理者や関係する企業、団体と協議が必要であり、慎重にならざるを得ない。

中ノ池スペースを将来に残置を

町：第二小の建替え仮校舎として考慮無し



はたの ひろし 議員



中ノ池

Q ①中央公民館の解体残土処分地を中ノ池利用で②円団の再構築について中ノ池の埋め立て跡地を仮設住居等々前川町政として考慮を。③将来の災害時の仮設住宅の建設地として中ノ池を。

A 一方議会では、中ノ池の売却は承認していない。尚、中ノ池は昭和41年とは59年前に「大字中」とは該当区の所有であったが、一帯を府公社で買収で登記簿は下線に棒で抹消されている。

Q 中ノ池は全町民の資産であり一部の区の資産にあらず。尚、区民会館は町費を認める。

A 〇しっかりと関連資料が出せない・出ない担当部の態。

A 仮設住宅の建設予定地を小中3か所と西法寺公園グラウンドとしているが不足である。検証すべき中ノ池は売却。仮設住宅建設スペースとしない。

次のページも

12月議会での一般質問をお知らせします



地域共生を支える高齢者活躍推進

町：生涯現役社会の実現はますます重要

おぼた たかのぶ 議員
小畑 孝信

他の質問：現役時に培ったスキル・相談を活躍に繋げる

Q 高齢者の活躍したいニーズを詳細に把握してほしいが、縦割り行政の弊害で相談先が分からない、話が前に進まないことが多い。

A 引き続き、役場はサービス業との認識のもと、全庁的に、高齢者に限らず、幅広い住民ニーズの把握と共有に努めて参ります。

Q 現役時代に培ったスキルや相談から活躍につなげるまで1か所対応するセンターを町に設置するように求めるのがいいか。

A 町においても全庁的、総合的に取り組んでいく必要があると認識はしておりますが、センターについて直ちに設置する考えはありません。



楽しく高齢者が活躍出来る町に！



円明寺区の公民館建設

町：法定財産区と同等の扱い

しま かつよし 議員
島 嘉一

他の質問：公共施設の建設、バイオトイレ設置

Q 円明寺区には山寺会館と円明寺会館の2つの公民館があったが、先の台風被害で山寺会館は取壊し、円明寺会館は昭和45年築で床が沈む老朽化が進み建て替えを進めている。財源として中ノ池売却である。町の支援は。

A 円明寺区の意向を尊重し、円明寺区の役員と打ち合わせを行い、中ノ池売却を進めます。

Q 円明寺区は法的財産区ではないがどう進めるのか。

A 明治22年市制・町村制施行時、旧市町村の一部で財産を有するものを財産区として特別の法規制を行ったが、本町の財産区は法定財産区ではありません。

Q 大山崎村ができる時、村人の協力、財産区の実績があるからこそ大山崎村の成長につながった。円明寺区の管理する財産に関して法定財産区と同等の扱いをしてくれますか。

A 分かりました。



売却を進める中ノ池



円明寺が丘団地の次世代への継承

町：問題解決へ行政の関わり方を検討する

ほりうち こひろ 議員
堀内 古比呂

他の質問：円明寺が丘交番跡地の活用について

Q 「アンケート調査結果報告・意見交流会」に参加した住民から、公社4階建てに対する様々な意見が出された。この意見をどのようにいかして行くのか。

A 管理運営の改善に向けた取組の参考となるセミナーの開催に向けて準備を進めている。

Q 管理組合への支援策の一つとして、耐震診断の費用補助制度を創設すべき。いかがか。

A 今後の公社4階建て住宅のあり方の検討について、区分所有者間での合意に向けて議論を進めることが最優先だと考えている。

Q 管理組合が建替え決定をした場合、仮住まいとしての空き家活用、府営住宅への入居を府と協議する必要がある。いかがか。

A まずは、それぞれの管理組合内で、建替え、または大規模修繕かの方向性の決定が最優先。必要な支援策を継続していきたい。



建設から50年以上が経過した円団



学童保育の充実を求める

町：施設整備や指導員処遇改善に取り組む

いのうえ はるお 議員
井上 治夫

他の質問：町内道路及び歩道や交差点の整備を求める

Q 大山崎町の学童保育の成り立ちを問う。

A 保護者による自主運営から1970年代には保護者会との共同運営という形態を経て、町営の学童保育事業が開始されました。

Q 学童保育の果たしてきた役割を問う。

A 保護者が安心して子どもを預けられる場として、異年齢集団の中でさまざまな遊びや体験を通じて児童の健全な成長の場としての役割を担ってきました。

Q 学童保育の充実には、施設整備の整備と、指導員の確保が重要と考えるがどうか。

A 入所児童の増加や対象児童数の増加を見込み、新施設の整備として大山崎小学校の旧給食室の転用のための改修を進めている。子どもたちの安心・安全な保育を提供していく上で指導員は欠くことのできない存在であり、処遇改善や採用活動の工夫などに取り組んでいく。



つながり深まる恒例の餅つき大会



移動手段確保策の具体的な検討を

町：地域公共交通会議を開催し検討する

あさこ なおみ 議員
朝子 直美

他の質問：入所児童数増に対応した保育所設備の改善を

Q 町民の移動手段の確保に向けて、移動実態や移動ニーズを把握する調査に取り組むことや、地域公共交通会議を設置することを求めるのがいいか。

A 現在、全国的に、路線バスの廃止や減便が相次ぐ中、町域を走る路線バスにおいても、深刻化する運転士不足により、11月より減便となった京都京阪バスに続き、阪急バスからも路線廃止の意向を聞いている。路線継続を要望すると同時に、路線バスに代わる新たな交通サービスの展開についても検討していかねばならないと考えており、大山崎町地域公共交通会議を開催し、重点的に取り組んでいきたい。

Q 時期はいつごろで、路線はどこか。

A 約1年後との意向であり、JR山崎駅から西国街道を通り西山天王山駅への路線と、円明寺が丘団地内を走る2つの路線である。



移動手段の確保で暮らしやすい町に

3月議会日程

令和6年第1回定例会日程

開会	2/21(水)	10:00
一般質問	2/29(木)・3/1(金)	10:00
複合施設特別委員会	3/4(月)	10:00
総務産業常任委員会	3/4(月)	13:30
建設上下水道文教厚生常任委員会	3/5(火)	13:30
予算決算常任委員会	3/6(水)～3/12(火)	10:00
	※3/9(土)・3/10(日)を除く	
広報常任委員会	3/15(金)	13:30
閉会	3/18(月)	10:00

日程詳細



一請願・陳情の提出期限—
定例会開会日の翌日 17:00

提出の方法



令和5年第4回定例会 表決の結果(賛否が分かれた案件)

※○は賛成 ×は反対 を表しています。※討論は、賛成もしくは反対の意見を述べた場合に記載しています。

議案番号	議案名	議決結果	議長	日本共産党議員団	大山崎クラブ	安心	公明党	是々非々の会	保守・本流・のぞみ	れんごう大山崎	
第73号議案	令和5年度大山崎町一般会計補正予算(第8号) ※可決した修正案の部分を除く原案の賛否	修正可決	北村吉史	朝子直美 辻真理子 井上治夫 堀内古比呂	山中一成 西田光宏	島一嘉	小畑孝信	井上博明	波多野 庇砂	徳本 修司	
議員提出議案第5号	第73号議案 令和5年度大山崎町一般会計補正予算(第8号)に対する修正動議 ※議員が提出した補正予算の修正案	可決	※議長は、議員として表決に加わりません。 (可否が同数の場合は、議長が裁決します。)								
陳情第3号	中学校給食無償化に関する陳情書	不採択									
陳情第4号	公民館再整備計画の早期再開に関する陳情書	不採択									
陳情第5号	国に選択的夫婦別姓制度の審議を求める意見書を提出することに関する陳情書	採択									

●表決 議員が各自の賛成、反対の意思表示をすること。
●討論 会議(本会議)での表決の前に、議題となっている案件に対して、賛成か反対かの自分の意見を表明すること。
なお、自分の意見を表明するだけでなく、意見の異なる議員に賛同させるようにする目的があります。

討論の内容は、会議録をご覧ください。(次回定例会の開会日頃からご覧いただけます。)

○冊子で閲覧(閲覧場所:役場1階ロビー・役場3階情報公開窓口・役場4階議会図書室・中央公民館図書室・長寿苑)

○町ホームページから会議録検索システムで閲覧(こちらから→)



町議会の会派構成が変わりました

令和5年11月23日に新しい会派の結成があり、町議会の構成は7つの会派となりました。

同じ考えなどをもつ議員が、町政に対して自分たちの考えを効果的に反映させるために、会派を結成しています。大山崎町議会では、一人でも会派を結成できます。

会派とは

会派名(人数)	所属議員名(◎会派幹事)
日本共産党議員団(4人)	◎朝子直美 辻 真理子 井上治夫 堀内古比呂
大山崎クラブ(3人) ※1人減	◎山中一成 北村吉史 西田光宏
安心(1人) ※新会派	◎島 一嘉
公明党(1人)	◎小畑孝信
是々非々の会(1人)	◎井上博明
保守・本流・のぞみ(1人)	◎波多野庇砂
れんごう大山崎(1人)	◎徳本修司

次回は6月1日にお届けします

〒618-8501 京都府乙訓郡大山崎町字円明寺小字夏目3番地
Tel 075-956-2101 Fax 075-953-6020

【発行】大山崎町議会
【編集】広報常任委員会 山中一成委員長/辻真理子副委員長/徳本修司/北村吉史/井上治夫/波多野庇砂